授業科目	乳児保育Ⅰ					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	池田　佐輪子						
授業概要	乳児期の子どもは他者に頼らなくては生きていけない存在だが、すでに一人の人間として意思や欲求、感情を持ち、外の世界に興味を示して働きかけている。愛着が形成され、人格形成の基礎となる自己肯定感の土台が培われる乳児期の発達を理解し、望ましい育ちを支える環境作り、援助や関わりについて学習する。また近年多様化している保育ニーズに、子どもの安心・安全を保障しながら責任をもって応えていくための、基本的な知識・技術の習得を図る。授業では、２５年間の保育所保育士としての実績をもつ実務家教員として事例を交えて講義を行うことで、現場の実態をイメージしながら望ましい保育について学生と共に考察していく。						
授業形態	講義			授業方法	・教員による講義を行う。 ・講義内容をもとに、実習を想定して実技実践を行う。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等について理解する。（DP1-2） 2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 3. ３歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。（DP2-1） 4. 乳幼保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。 学生が達成すべき行動目標に挙げた４項目について理解し、関わり方の基礎が学習できている。
理想的レベル	標準的なレベルの理解に加え、子どもの発達の状態や気持ちを理解することを意識し、学んだことを応用しながら関わろうとする力を有している。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	定期試験
小テスト		
レポート	10%	最終回に振り返りレポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物		
その他	20%	授業への積極的な参加態度や意見発表等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH11318J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
・テキストや配布されたレジュメをもとに講義内容を予習・復習する。	4

授業計画

第１回	テーマ：乳児保育Ⅰについて 授業の進め方や評価について説明を受け、社会から必要とされている乳児保育について理解する。

第 2 回	テーマ：乳児保育の意義・目的と役割① 乳児保育の歴史的変遷から、意義、目的、また役割について学ぶ。
第 3 回	テーマ：乳児保育の意義・目的と役割② 保育所保育指針より、乳児保育に関するねらいと内容について学ぶ。
第 4 回	テーマ：乳児の発育・発達を踏まえた保育① 胎生期から出産について、６か月未満児の発達の様子と保育の援助や関わりについて理解する。
第 5 回	テーマ：乳児の発育・発達を踏まえた保育② ６か月～１歳３か月児の発達の様子と保育の援助や関わりについて理解する。
第 6 回	テーマ：乳児の発育・発達を踏まえた保育③ １歳３か月～２歳児の発達の様子と保育の援助や関わりについて理解する。 ３歳以上児の保育への移行について学ぶ。
第 7 回	テーマ：乳児保育が行われるところ 乳児保育が実践される様々な施設等について学ぶ。
第 8 回	テーマ：乳児保育の環境① 生活や遊び等における、発達を促す望ましい環境と関わりについて学び、演習を行う。
第 9 回	テーマ：乳児保育の環境② 生活や遊び等における、発達を促す望ましい環境と関わり、特に遊びについて学び、演習を行う。
第 10 回	テーマ：乳児保育の環境③ 安全管理・衛生管理について理解する。
第 11 回	テーマ：保育の計画 保育の基本と保育計画の立案・記録・評価について学ぶ。
第 12 回	テーマ：乳児保育における連携・協働① 職員間での連携・協働について学ぶ。
第 13 回	テーマ：乳児保育の連携・協働について② 保護者とのパートナーシップ、地域や関係機関との連携について学ぶ。
第 14 回	テーマ：乳児保育の現状と課題 多様な保育の場（保育所、乳児院等）における、乳児保育をめぐる社会状況と課題について学び、望ましい乳児保育について考察する。
第 15 回	テーマ：まとめ 授業を振り返り、私たちが目指す乳児保育について考察する。
テキスト	乳児保育演習ブック 監修：松本峰雄 ミネルヴァ書房
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	保育所保育指針解説 　厚生労働省編 　フレーベル館 新版　遊びの指導　乳・幼児編 　幼少年教育研究所 　同文書院

課題に対するフィードバックの方法	・試験の解答例等についての解説は成績発表後に行います。 ・課題はその都度内容についてフィードバックしていきます。
学生へのメッセージ・コメント	「保育の心理学」「子どもの保健」、また保育所実習や施設実習にも関係深い科目です。関連づけながら授業に臨みましょう。 乳児保育は人の育ちの基礎となります。積極的に授業に参加し、人間同士の温かい触れ合いが、その後の人間形成期の土台となることを学びましょう。 「乳児保育」では《かけがえのない命の大切さ》について解説していきます。学んだことを保育の中で活かせるようにしましょう。